

## 2 第六期長期計画実行計画の取組状況と中間評価

長期計画の評価について、第六期長期計画策定時に「客観的な指標がなければ評価は困難」という意見があった。そこで、市は令和3（2021）年度に「新たな行政評価制度（案）」を作成した。

今回、策定委員会では、「新たな行政評価制度（案）」に基づき、第六期長期計画実行計画の取組状況について、試行的に中間評価を実施した。基本施策ごとに「施策評価シート」を作成し、これまでの成果と課題を取りまとめた。

なお、施策の実現のために毎年度市が実施している事務事業評価との違いについては、以下のとおりである。

	施策評価	事務事業評価
主体	長期計画等の策定委員会	【1次評価】評価対象事業を所掌する部課長等 【2次評価】市長
対象	基本施策（施策を含む）	事務事業
時期	長期計画等の策定時	毎年度

### ■施策評価シートの見方

施策評価シート ＜基本施策の概要＞		番号							
基本施策名		分野	担当部課						
まちぐるみの支え合いを実現するための取組み		健康・福祉	健康福祉部						
概要	我が国では、少子高齢化の進行や非正規労働者の増加等、社会保障制度を取り巻く状況が大きく変化し、年金・医療・介護等への不安や格差の拡大、地域のつながりの希薄化等から、将来の暮らしに関わる不安やリスクの拡大が懸念されている。本市においては、このような社会構造や市民のニーズの変化に対応するために、地域包括ケアシステムを「まちぐるみの支え合いの仕組みづくり」と言い換え、武蔵野市健康福祉総合計画に基づいて、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう取組みを推進していく。また、まちぐるみの支え合いを着実に進めることで、本市における地域共生社会を実現していく。								
SDGsの目標との関係									
施策	1 「健康長寿のまち武蔵野」の推進 2 武蔵野市ならではの互助・共助の取組み 3 地域共生社会の実現に向けた取組み	事業 (No.は 施策に 対応)	1 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定 令和2年度 1 シルバー人材センター移転の支援 令和3年度 1 健康長寿のまち武蔵野推進月間の実施 令和4年度 1 第4期健康福祉総合計画及び各個別計画策定に係る各種実施調査 令和4年度 2 いきいきサロン事業、レモンキャブ事業、テンミリオンハウス事業 2 シニア支え合いポイント制度の推進 2 障害者差別解消法の推進						
＜参考指標＞									
No. 施策	参考指標	実績値							
		R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1	健康寿命(東京都保健所長会方式)(要介護3以上)	男性:83.60 女性:85.91	男性:83.74 女性:86.10						
2	特定健康診査受診率(%)	52.0	44.7	46.1					
3	テンミリオンハウス高齢者利用者数(延べ人数)	36,042	17,548	26,455					
4	シニア支え合いポイント付与ポイント数	8,197	1,753	2,153					
5	心のバリアフリー啓発事業 参加者数	1,079	603	1,168					
＜評価（施策の進捗上の成果と課題）＞									
基本施策の進捗状況及び成果と課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「健康長寿のまち武蔵野推進月間」として、認知症に対する正しい理解及び健康づくりに関する普及・啓発と健康づくりを実践するきっかけとなる講演会等の事業が新たに実施された。</li> <li>テンミリオンハウスやいきいきサロン事業を通じて、介護予防に資する互助・共助の取組みが推進された(参考指標3)。</li> <li>地域共生社会の実現を目指し、年間約1,000人の心のバリアフリー啓発事業へ参加を得ているが、引続き啓発が必要である。障害のある方への情報保障も課題である(参考指標5)。</li> <li>シニア支え合いポイント制度のポイント付与数は、コロナ禍で令和2年度に激減し令和3年度に増加したが、以前の水準には回復していない(参考指標4)。</li> <li>特定健康診査の受診率の向上を目指し、医師会等の関係機関と協力し、受診可能期間の平準化と延伸、土曜健診の実施、未受診者への勧奨などに取り組んだ(参考指標2)。</li> <li>がんの早期発見・早期治療につなげる診査が実施された。令和2年度には胃がん</li> </ul>								
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレイルや認知症予防に効果的である。</li> <li>障害者差別解消法等の啓発事業を継続する。</li> <li>今後も互助・共助を推進するため、シニア病気の早期発見・重症化予防、生活・ライフステージ等に応じて異なる栄養</li> </ul>								
＜その他特記事項＞参考指標の設定根拠、用語									
参考指標1:健康寿命(東京都保健所長会方式)(質問で算出した場合)									

#### [基本施策の概要]

- ・第六期長期計画より記載

#### [施策]

- ・基本施策における各施策を記載

#### [事業]

- ・各施策に対応した主な事業を記載
- ・事業実施年度を右欄に記載（継続して実施している事業を除く）

#### [参考指標]

- ・基本施策の評価にあたり参考となる指標を記載（施策欄は関連する施策番号）
- ・目標値は設定しておらずあくまで参考情報
- ・現在は把握していない検討レベルの指標も設定している場合がある（具体的な検討は今後行う）

#### [実績値]

- ・空欄は当該年度に調査等をしていないもの
- ・「-」は当該年度には調査等をしていないもの
- ・斜線は当該年度には指標の元となる事業等を実施していないもの

#### [評価]

- ・基本施策のこれまでの成果や課題、今後の方針を記載
- ・参考指標では数値化できないものも含めて定性的に表現（評価欄の文章中、参考指標を踏まえたものは文末に当該指標を明記）

#### [その他特記事項]

- ・参考指標の設定根拠、用語解説などを記載